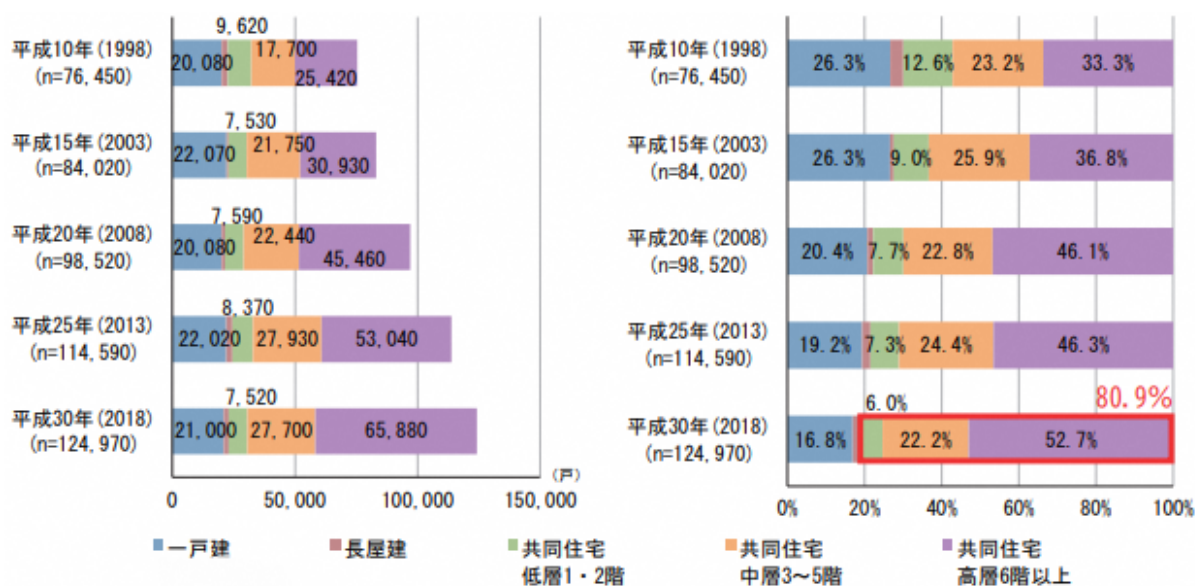


## 文京区内の建築物について

### 1. 建て方別住宅数・率の推移

・建て方別にみると一戸建の比率は平成 10（1998）年から平成 30（2018）年にかけて 9.5 ポイント低下しています。一方で、共同住宅の比率は平成 30（2018）年に 80.9%と高くなっています。この 20 年で3階建て以上の共同住宅の住戸数・率が増加しており、なかでも共同住宅（6階以上）の比率が 19.4 ポイント増加しています。

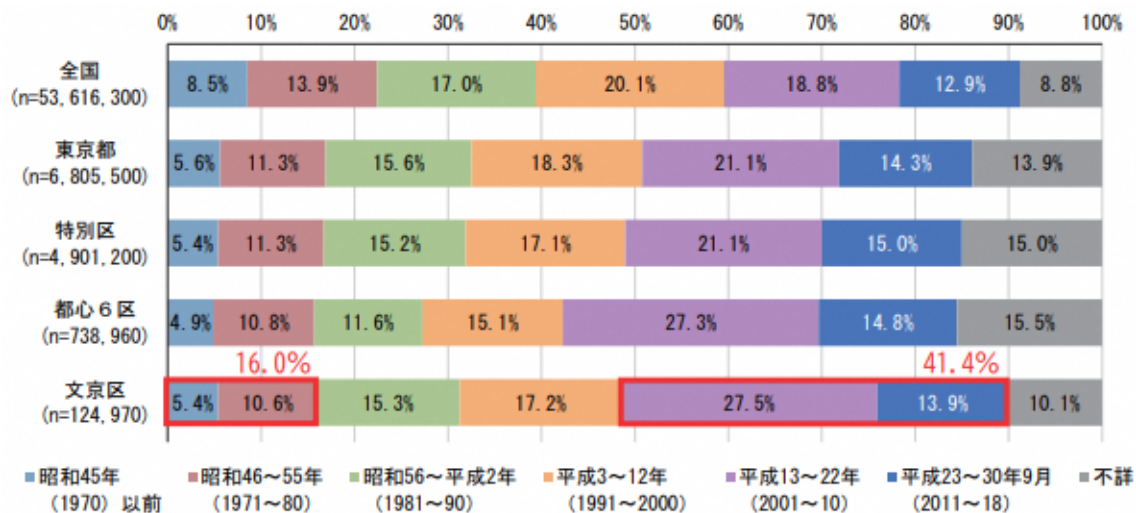


出典：文京区住宅白書（令和 5 年度）より。以降の掲載図表同様。

### 2. 建築時期別住宅率（他都市比較）

・本区の昭和 55（1980）年以前に旧耐震基準により建築された住宅は全体の 16.0%であり、東京都、特別区、都心 6 区と同程度の比率となっています。

・また、平成 13（2001）年以降に建設された住宅は 41.4%であり、都心 6 区と同程度で、全国、東京都、特別区より高い比率となっています。



### 3. マンションについて

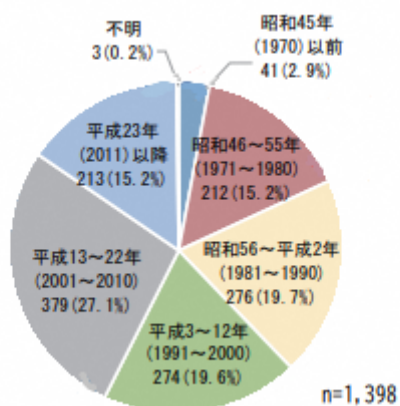
【定義】マンション：3階建て以上の共同住宅で2以上の者が区分所有している建物

・文京区住宅白書(令和5年度)によると、本区内のマンションは1,398件となっています。

#### (1)建築の時期

・平成13(2001)～22(2010)年が27.1%と最も多く、次いで平成3(1991)～12(2000)年が19.6%となり、あわせると全体の46.7%を占めています。

・昭和45(1970)年以前(築52年以上)が2.9%、昭和46(1971)～55(1980)年(築42～51年)が15.2%であり、築42年以上の高経年マンションは全体の18.1%あります。



#### (2)建築時期別戸数規模

・建築時期が昭和45(1970)年以前、昭和46(1971)～平成2(1990)年、平成3(1991)年以降のマンションで異なる傾向がみられます。

・築52年以上となる昭和45(1970)年以前のマンションは、件数自体が少ないものの、戸数規模は多様です。築年数32～51年の昭和46(1971)～平成2(1990)年のマンションは30戸以下が60%弱を占め、小規模マンションが目立ちます。平成3(1991)年以降のマンションは30戸以下が30～40%程度となっています。

・高度経済成長期後半からバブル期にかけて、小規模マンションが比較的多く供給されたことが分かります。

